

令和2年度 大阪府立登美丘高等学校 第1回学校運営協議会 記録

○日時：令和2年6月23日（火） 14：00～16：00

○場所：本校 校長室

○出席者：斎藤 巡友（桃山学院大学経営学部講師）、宮崎 久司（虹ヶ丘地区自治会長）、薬師寺 広隆（第一ゼミナール金剛校 校長）、苜廣 啓史（同窓会長）、藤田 有紀子（PTA 会長）、天野信治（野田中学校長）

○欠席者：なし

○事務局：校長、教頭、古崎首席、益永首席、栗生進路部長

<次第>

1. 校長挨拶

2. 学校運営協議会について

- ・学校運営協議会実施要項の確認
- ・会長に斎藤氏、副会長に苜廣氏を選出

3. 報告

- ①令和2年度学校経営計画について
- ②令和元年度 進路状況について
- ③教科書選定について
- ④その他（オンライン教育理念について、アドミッションポリシーについて、休校期間中対策について、100周年について）

4. 授業見学・施設見学（14：15～15：05）

○英語表現 B（1－3） ○地学基礎（3－3） ○現代文 B（2－5）

5. 協議

○主な意見・質問等

- ・経営計画において、多様な進学先に対するきめ細やかな対応をしていただくのは賛成だが、一方でやはり関関同立などの進学先は気になる。そこを希望する生徒を合格に導いてほしい。
- ・休校期間中、オンラインを中心に工夫されていることはよくわかった。ただ、塾でもそうだが、オンラインの限界があり、やはり対面での教育の重要性が良くわかる。中学生向け学校説明会など、密に配慮しながら対面の機会も考慮してほしい。
- ・授業見学して、生徒が真面目に学習している様子が良く分かったが、40人が一斉に授業しているさまは、やはり密だと思った。オンライン授業も含めて、授業の進め方も考えて行かれるのでしょうか。
- ・中学に比べて、高校生なのでオンライン授業をうまく進めやすいのだと感じ、参考になった。
- ・コロナによって悪いことが多かったが、オンライン教育の様子を知れて、例えば動画授業など自分で繰り返し見られるし、私の時代にはなかった良いこともあると感じた。良い改善を今後も期待したい。
- ・100周年に向けて コロナ禍の中で止まっていたが、特定寄付の申請など、今後進めていく。コロナを乗り越えての100周年となるので、同窓会、PTA、学校と協力して進めていきたい。

（座長まとめ）

コロナという大きな困難の中で、お疲れ様です。大学でも、リモート授業が続き、オープンキャンパスも中止になるなど、変革を余儀なくされています。先ほどの話でもありましたが、リアルならではの「偶発の発見による」知識の習得などもとても大切なので、実体験での教育と、オンラインでの良さも活かしての、融合型の学校運営を期待したいと思っています。

*第2回：令和2年9月15日（火）11時より開催予定（文化祭も見学）